令和7年度「空飛ぶクルマ」社会受容性向上にかかるコンテンツ制作等業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

学識経験者等の意見を聴取する有識者会議による審査を行い、同会議の評価結果を基
に、次のとおり受注予定事業者を選定しました。

1 案件名称

令和7年度「空飛ぶクルマ」社会受容性向上にかかるコンテンツ制作等業務委託
契約期間 契約締結日から令和8年3月31日まで

2 選定した受注予定事業者

空飛ぶクルマ・スペシャルグループ
(代表構成員：株式会社キャップエンターテインメント)

3 公募期間

令和7年2月21日から令和7年3月27日まで

4 有識者会議による審査の結果

(1) 有識者会議名簿（敬称略）（五十音順）

委員氏名	役職等
久保 由加里	大阪国際大学国際教養学部 教授
廣戸 貴義	近畿経済産業局産業部製造産業課 課長補佐
吉田 大介	大阪公立大学大学院情報学研究科 准教授

(2) 有識者会議の開催日

第1回 令和7年1月24日（金曜日）

第2回 令和7年4月9日（水曜日）

(3) 審査基準

審査項目	審査内容	配点
事業目的等の理解	・当事業の目的、内容等を理解し、的確に反映されたものとなっているか。	10点

企画力	<p>VR コンテンツについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の内容に沿って、空飛ぶクルマの実現によりもたらされる新たな価値・サービス等について市民等の理解を深める内容となっているか。 ・世代等を問わず、幅広い層が興味や関心を持ちやすいような創意工夫がされた構成内容となっているか。 ・空撮エリア、VR コンテンツのシナリオやキャプションなどが具体的かつわかりやすく提案されているか。 	30点
	<ul style="list-style-type: none"> ・制作したコンテンツ等を用いた空飛ぶクルマの社会受容性向上につながる啓発事業企画運営の内容については、空飛ぶクルマの社会受容性の向上に繋がる内容になっているか。 	10点
撮影・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・提案された動画等を撮影するための撮影機材、技術、人員がそろっているか。 	15点
実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの飛行地点は、飛行可能かつ社会受容性の向上に効果的な場所が選定されているか。 ・スケジュールはコンテンツ制作の具体的な手順が示され、妥当で、無理なく適切に業務実施できるものになっているか。 ・制作したコンテンツ等を用いた空飛ぶクルマの社会受容性向上につながる啓発事業企画運営・業務については、無理なく適切に実施できるものになっているか。 	10点
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによる空撮及びVR 技術を活用したコンテンツ制作を元請として履行した実績が十分にあるか。 	10点
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を実施する際の安全管理や連絡体制などが適切であるか。 	10点
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・費用積算の妥当性など 	5点
合	計（有識者委員1名あたり）	100点

(4) 審査を行った事業者

空飛ぶクルマ・スペシャルグループ

代表構成員：株式会社キャップエンターテインメント

構 成 員：株式会社スタジオ・ビーアンドエム

全1者

(5) 審査結果（有識者委員の評価点の合計）

審査項目	審査内容	受注予定事業者 評価点
事業目的等の理解	・当事業の目的、内容等を理解し、的確に反映されたものとなっているか。	22点
企画力	VRコンテンツについて ・仕様書の内容に沿って、空飛ぶクルマの実現によりもたらされる新たな価値・サービス等について市民等の理解を深める内容となっているか。 ・世代等を問わず、幅広い層が興味や関心を持ちやすいような創意工夫がされた構成内容となっているか。 ・空撮エリア、VRコンテンツのシナリオやキャプションなどが具体的かつわかりやすく提案されているか。	60点
	・制作したコンテンツ等を用いた空飛ぶクルマの社会受容性向上につながる啓発事業企画運営の内容については、空飛ぶクルマの社会受容性の向上に繋がる内容になっているか。	18点
撮影・技術	・提案された動画等を撮影するための撮影機材、技術、人員がそろっているか。	36点
実現可能性	・ドローンの飛行地点は、飛行可能かつ社会受容性の向上に効果的な場所が選定されているか。 ・スケジュールはコンテンツ制作の具体的な手順が示され、妥当で、無理なく適切に業務実施できるものになっているか。 ・制作したコンテンツ等を用いた空飛ぶクルマの社会受容性向上につながる啓発事業企画運営・業務については、無理なく適切に実施できるものになっているか。	20点
実績	・ドローンによる空撮及びVR技術を活用	22点

	したコンテンツ制作を元請として履行した実績が十分にあるか。	
安全性	・業務を実施する際の安全管理や連絡体制などが適切であるか。	22 点
価格	・費用積算の妥当性など	10 点
計		210 点